

国労東海

国鉄労働組合
東海エリア本部
東京都港区新橋5-15-5
交通ビル4階
発行責任者 長岡正之
編集責任者 一柳弘一

生活改善には程遠い回答

東海 ベア1300円
夏期手当3・05カ月
貨物 ベア2年連続も200円

JR東海は3月14日、国労に対して19春闘の回答を行いました。回答の内容は、「平成31年4月1日現在の35歳ポイントの基準内賃金を、標準乗数4相当の定期昇給額分とは別に、1300円(0・40%)引き上げる」。夏季手当については、3・05カ月月でした。ベア、手当ともに昨年と同額です。

19春闘で国労は、1万2000円のベアアップを基本として全国一斉に2月12日に申し入れを行いました。

国労東海本部は、2月19日の趣旨説明から回答まで計7回の交渉を会社と行ってきました。



「3・5国労中央総決起集会」で決意表明する東海本部の長岡委員長

19春闘では、「アベノミクス」のもとで大企業は最高益を更新する一方、労働者の実質賃金は1997年をピークに減少し続けてきている結果、一向に景気が上向いていないこと。この間の総務省「家計調査」でも消費支出が減退し経済が縮小・悪化している状況だからこそ、日本経済の活性化にはすべての労働者の賃金引き上げが必要であること等を訴え、職場や地域での闘いを背景に交渉を進めてきました。会社は回答の席上、「新賃金については、安全・安定輸送の確保を第一に、各種施策の着実

な推進、より良いサービスの提供と低コスト化・効率化の一層の推進に、全ての社員が高い士気で一一致団結して取り組むことを強く期待」しての1300円のベアアップを決定したと述べました。

国労は、6年連続のベアアップについては一定の評価はできるものの、ベア実施金額は国労要求とも乖離した低額回答だということ。さらに社会保険料の増加、物価上昇や消費税増税分にも到底届かないもので、組合員の生活向上の観点からも納得いくものではなく持ち帰り検討としました。

夏季手当についても、安定的支給ベアからの増額は評価しつつ、国労要求からかけ離れ、労働者・家族・社員の期待に大きく背くものだと、持ち帰り検討としました。

社員と家族の厳しい生活実態を直視しない姿勢に強く抗議

東海本部は15日に執行委員会と地方代表者会議を行い、春闘及び夏季手当回答に対しての取

貨物会社は3月15日、国労に対して、2年連続の有額「ベア200円」の低額回答、定期昇給の実施、55歳以上の賃金改善、の回答を行いました。

交渉で本部は、①2年連続の有額回答は、社員と家族のおかれている生活実態からすれば当然だが、国労要求とは大きく乖離するもので、「災害を社員犠牲で乗り切るやり方は認めない」と繰り返し交渉で求めてきたにもかかわらず、過去を省みない回答、②昨年度は最大の目標としていた鉄道事業部門の黒字化を達成し、JR発足以来最高益の経常利益を上げている現状、来年度事業計画数値は最高益を見込んでいる下

り扱いを議論し、不満は大きいものの同日をもって妥結しました。

で2000円の賃上げでは、社員と家族の厳しい生活実態を直視しないものでしかない、③55歳以上の賃金改善は、「解決しなければならぬ最大の課題だ」との認識を示しながら、四半世紀を経て踏み込んだ制度改正の経過からすれば極めて不満、④社員に正当に還元しない姿勢は、災害復旧に最大限奮闘してきた社員感情を逆撫でするもので社員のやる気を削ぐものだ。として強く抗議の意思を表明し、持ち帰り検討としました。

そして直ちに闘争指示52号を全国に発し、抗議行動を3月22日まで展開しました。

本部は3月22日、19春闘における成果と課題を明らかにした上で、組合員・家族の生活等を考慮し、同日、妥結しました。

なお貨物会社は、①嘱託社員の寒冷地手当の社員に準じた引き上げ、②扶養手当を子供22歳まで支給、③インフルエンザ予防接種を扶養する配偶者にも社員と同様に実施する。と回答しています。

家族の幸せを災害から守る

火災共済 ⊕ オプション保障 火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

B1424401E2144-20150209

交通共済 ニューズ



オプション保障(類焼損害費用保障、個人賠償責任保障、借家人賠償責任保障+修理費用)は、共済火災海上保険業を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード
交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

各地本と地区本部

統一行動を多彩に展開

春闘要求と労働者・国民の諸要求実現を掲げて宣伝

東海本部の名古屋地本、新幹線地本と大阪地区本部、静岡地本は、春闘での統一行動に取り組みました。

大幅賃上げをはじめとする春闘要求の実現や貨物のベアゼロ阻止、憲法改悪阻止、人間らしい働くルールの確立等の労働者・国民の諸要求を掲げて早朝から夕方までの1日、宣伝行動、学習会、系統別交流会など多彩に行動を展開しました。今号では静岡、名古屋地本の取り組みの様子を掲載します。

静岡地本

静岡地方本部は3月8日、「2019春闘勝利！静岡地方総行動」を行いました。地方本部での突入集会後、静岡駅北口地下道で「19春闘勝利」



JR貨物静岡総合鉄道部前でアピール行動・シュプレヒコールする参加者

JR貨物静岡総合鉄道部前では、「貨物会社は8期連続の経常赤字の下、昨年度はJR発足から最高益となる経常利益を確保するなど、国労要求に応える体力は十分にある。国労要求ベア12000円の満額回答を強く求める」と訴えました。最後に、「貨物会社はベアを実施せよ」「年休を取れる要員配置をせよ」「関連会社の労働条件改

善」等とシュプレヒコールを行いました。その後の「決起集会」で若原委員長は、「19春闘では、安定した雇用を実現し、賃金の引上げ・底上げを勝ち取り、貧困と格差を是正し、8時間働いて人間らしく暮らせる社会の確立を求めよう。私たちは、要求実現のために地域と一体となって、すべての仲間とともに団結してたたかいて作る。また、市民と野党の共闘を進め、暴走を続ける安倍政権を退陣に追い込み、



富士駅前ではアピール行進する参加者

戦争する国づくりを阻止し、民主主義を私たちの手に取り戻そう」とあいさつしました。続いて、東海本部の長岡委員長のあいさつ、静岡貨物協議会小川議長の現状報告、富士地区労前島議長、鉄道退職者の会鈴木会長などからの連帯のあいさつ、東静岡機関区分会瓜田分会長、貨物分会鈴木(昭)書記長、各支部長から決意表明を受けました。行動の最後に、富士駅北口にて、「労働者の生活と権利を守ろう！勝ち取る大大幅賃上げ！安倍9条改悪NO！消費税増税NO！」の横断幕を先頭にアピールパレードを行いました。

「全ての労働者の大幅賃上げ獲得」「労働条件改善」「消費税10%増税反対」「浜岡原発廃炉」等を訴え、用意したチラシ400枚をあつという間に配布しました。

名古屋地本

3月9日の名古屋地本統一宣伝は、名古屋市中区栄・矢場公園付近で行いました。矢場公園では「原発NAGOPYAアクション」集会が開催されており、その参加者にも配布し、JAL愛知の会が物資販売を出店し、原告も参加して訴えていました。

宣伝には、穏やかな春らしい気候の中、12人が参加し、本作成チラシにポケットティッシュ



矢場公園での宣伝行動には12名が参加。チラシを390枚を配布した

を装填した390枚を配布しました。各機関では、中部自動車支部が地域で本部春闘チラシ100枚を配布、三重県支部は8日に松阪駅前で50セット配布し、岐阜県支部は3月9日に県春闘共

闘学習会・最低賃金1500円を求める街頭署名に役員を中心に参加し、本部春闘チラシは16日に大垣駅前配布予定です。愛知県支部は2月24日のトヨタ総行動名古屋駅宣伝デモ、3月14日には愛知県春闘全県決起集会デモに参加し、全体では約300人が寒風吹きすさぶ中、「大企業は社会的責任を果たせ」、「消費税増税ではなく大企業や富裕層への適正な課税を」、「働くルールの確立に向け、力を合わせよう」などと市民にアピールしました。

(報告) 名古屋地本・鶴山書記長

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

NEW/ 生きるためのがん保険 Days1

アフラック No.1 がん保険 契約条件

がん先進医療 15万円
抗がん剤・ホルモン剤 10万円
特定診断 50万円
入院 10,000円
通院 10,000円

アフラック 東京第二法人営業部
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL:03-3437-6810 FAX:03-3437-6822